

妊娠・出産等の手続きの負担軽減に係る 取組の方向性について

令和5年6月7日

こども家庭庁

妊娠や出産等の手続きに関するアンケート調査（概要）

調査概要等

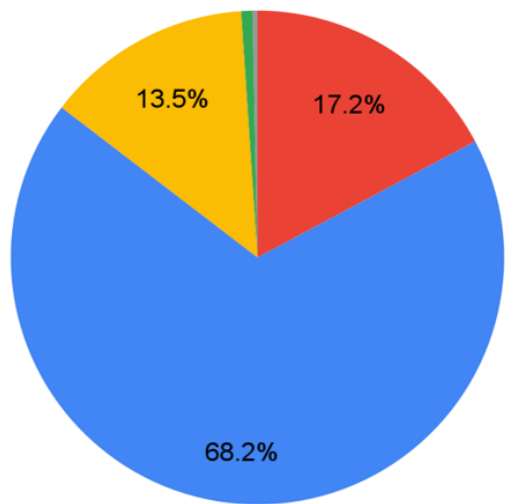
- 調査方法：PoliPoli Gov(β版)を用いたインターネットリサーチ
- 調査日程：令和5年2月15日～同年3月22日（計35日間）
- 総コメントユーザー数：2,163名（ユニークユーザー数（UU）を算出） ● 総コメント投稿数：3,778件（公開コメント数）

ユーザー属性

- （年齢）回答者の約7割が30代が占めた。
- （性別）回答者の9割以上が女性が占めた。
- （末子の年齢）生後1歳以下の末子をもつ回答者が7割以上を占めた。

年齢

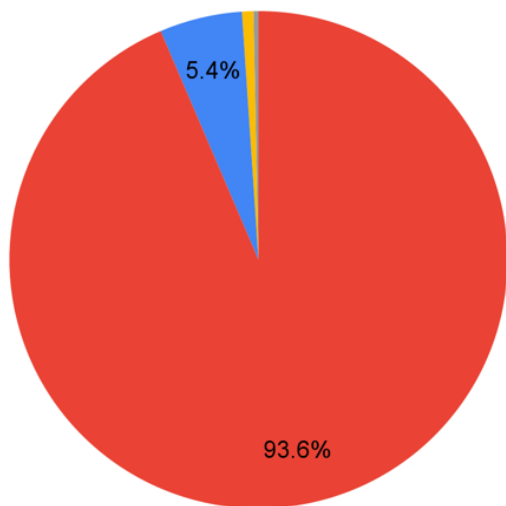
● 20代 ● 30代 ● 40代 ● 50代 ● 未回答



回答者の年代別 UU数2,163人
全体の68.2%を30代の回答者が占めた。

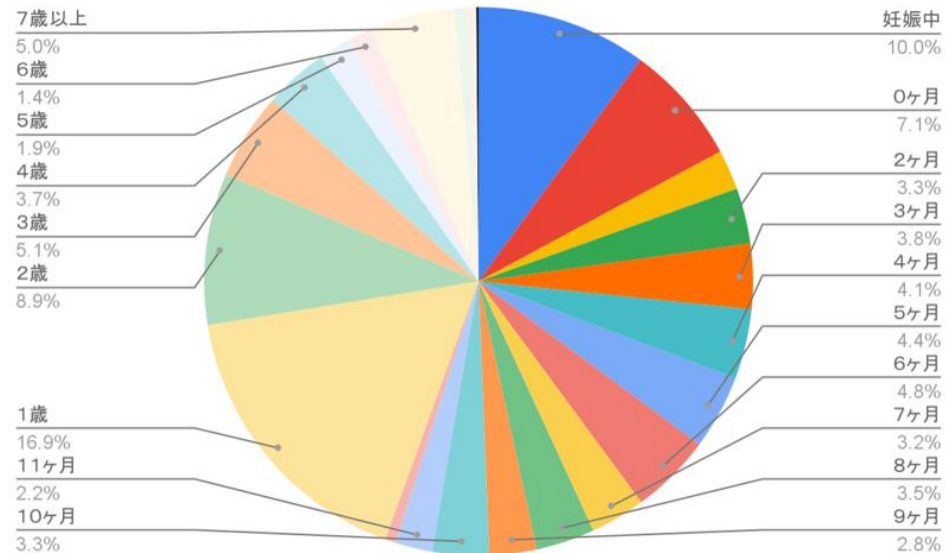
性別

● 女性 ● 男性 ● 答えたくない ● 未回答



回答者の性別 UU数2,163人
全体の93.6%を女性の回答者が占めた。

末子の年齢

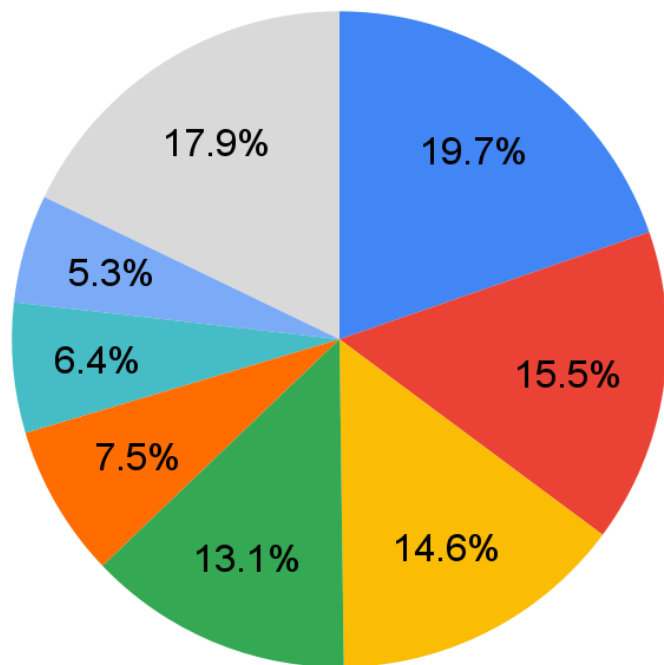


回答者の末子の年齢別 UU数2,163人
生後1歳以下の末子をもつ回答者が、72.4%を占めた。

分析結果（総括）

- 意見数が多かった手続きのジャンル（カテゴリ1）は上から、出生届、妊婦健診、母子健康手帳、予防接種、乳幼児健診、健康保険、妊娠届の順。またこれらの以外の「その他」の手続きに対する意見も、全体の17.9%にのぼった。
- 手続きに困った理由（カテゴリ2）は上から「対面の必要性・郵送や面談のタイミング」、「紙媒体での提出」、「プロセスの複雑・面倒さ」に関する意見が多くあがった。なお、「その他」として手続きに関する意見以外の意見も寄せられた。

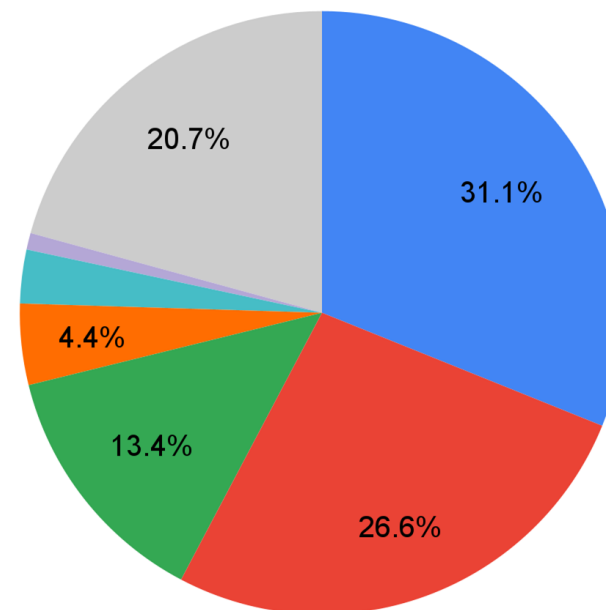
● 出生届 ● 妊婦健診 ● 母子健康手帳 ● 予防接種
● 乳幼児健診 ● 健康保険 ● 妊娠届 ● その他



【カテゴリ1】手続きのジャンル 3,802回答※1

※1 「その他」について再精査した結果、1コメント内に複数の手続きに関する言及がある場合は、それぞれを分けて換算した延べ数の値

● 対面の必要性・郵送や面談のタイミング ● プロセスの複雑・面倒さ
● 紙媒体での提出 ● 手続きの方法や基準が不明瞭
● スケジュールの把握・管理のしづらさ ● マイナンバーカード関連の手続き ● その他



【カテゴリ2】手続きに困った理由 5,149回答※2

※2 1つのコメント内に複数の困った理由に関する言及がある場合は、それぞれを分けて換算した延べ数の値

分析結果（出生届）

- 出生届のジャンルでは、「対面の必要性・郵送や面談のタイミング」に関する意見が46.0%と多くあがり、続いて「紙媒体での提出」に関する意見(31.6%)、「プロセスの複雑・面倒さ」に関する意見(14.8%)が多くなった。
- 具体的には、**出生届の提出期限（14日以内）に関する意見**や、**出生届の電子申請を可能とすることを求める意見**が多かった。

出生届（カテゴリ1）における具体的な意見例

●対面の必要性・郵送や面談のタイミング（46.0%）

出産から**2週間の期限が短い**。疾患があったり、ひとり親だと提出が困難。**オンラインで届出できるようにしてほしい**。従来どおりの期間でオンライン仮申請してもらい、それよりも長い期間（1～2ヶ月）で役所に来てもらい本申請とするのはどうか。等

●紙媒体での提出（31.6%）

同じような書類（特に住所など）を**何度も書くのが大変**。（他の手続きとの関係で）名前や住所などは一回書けばいいようにしてほしい。できる限りオンラインにしてほしい。等

●プロセスの複雑・面倒さ（14.8%）

里帰り出産の場合に住民票がある地域への**出生届の提出フローが複雑・面倒**。里帰り出産をした市町村で出生届を出すと、住民票、戸籍謄本の発行までにタイムラグが生じる。等

●スケジュールの把握・管理のしづらさ（0.4%）

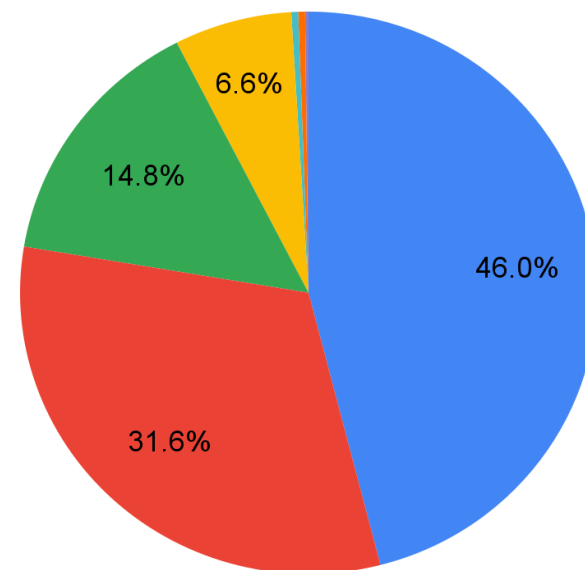
年末年始やゴールデンウィークに出産をした場合に、役所の営業時間が限られているため**出生届の提出がギリギリ**になってしまう。等

●手続きの方法や基準が不明瞭（0.4%）

記入項目がわかりづらい、どう書けばよいかわからない。等

出生届（カテゴリ1）における手続きに困った理由（カテゴリ2）の結果

- 対面の必要性・郵送や面談のタイミング
- 紙媒体での提出
- プロセスの複雑・面倒さ
- その他
- スケジュールの把握・管理のしづらさ
- 手続きの方法や基準が不明瞭
- マイナンバーカード関連の手続き



分析結果（妊婦健診）

- 妊婦健診のジャンルでは、「その他」に関する意見（健診費用の高さ等）が半分を占めたが、手続きに関する意見としては「紙媒体での提出」に関する意見(28.2%)、「プロセスの複雑・面倒さ」に関する意見(13.7%)、「対面の必要性・郵送や面談のタイミング」(4.0%)が多くなった。
- 具体的には、**妊婦健診の受診券の記入の大変さ（チケット等の電子化）**や**全国で共通化されていない点**、**償還払いの手続きの複雑さ・面倒さに関する意見**が多かった。

妊婦健診（カテゴリ1）における具体的な意見例

●紙媒体での提出（28.2%）

健診補助券全てに手書きで名前、住所等を書くのが大変。妊婦健診助成の対象者であることや利用状況・金額がマイナンバーカードや保険証でわかるようにしてほしい。健診チケットの電子化をしてほしい。 等

●プロセスの複雑・面倒さ（13.7%）

里帰り出産の場合に妊婦健診の補助券が発行自治体以外で使えない。償還払いの申請も産後や育児が大変な時にするのはキツイ。**全国共通**で補助券が使えるようにしてほしい。 等

●対面の必要性・郵送や面談のタイミング（4.0%）

上の子の預け先がなく大変だった。
立替分の請求を郵送やオンラインでできればありがたい。 等

●手続きの方法や基準が不明瞭（2.7%）

産婦人科の情報収集が大変。妊娠・出産・育児の手続き関連の**情報がまとまっているポータルサイト**がほしい。 等

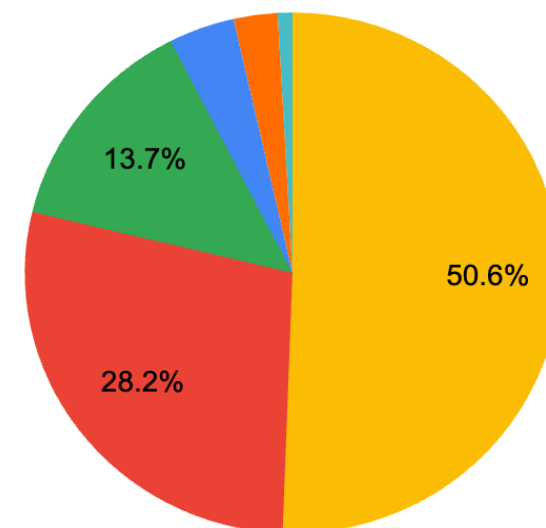
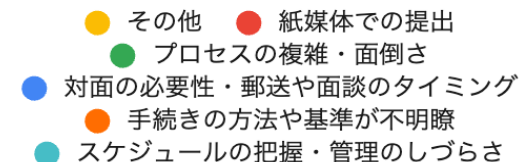
●スケジュールの把握・管理のしづらさ（0.9%）

妊婦健診の紙を忘れるので忘れないような仕様にしてほしい、毎回現金払いでキャッシュレス非対応の医院で困った。 等

●その他（50.6%）

自費負担が大きい。 等

妊婦健診（カテゴリ1）における 手続きに困った理由（カテゴリ2）の結果



分析結果（母子健康手帳）

- 母子健康手帳のジャンルでは、対面の必要性・郵送や面談のタイミングに関する意見が54.6%と多くあがり、続いて「紙媒体での提出」に関する意見(23.9%)、「プロセスの複雑・面倒さ」に関する意見(3.4%)が多くなった。
- 具体的には、妊娠届のオンライン申請等の手続きの簡素化を求める意見や、オンライン相談・各種書類のデータ化に関する意見が多かった。

母子健康手帳（カテゴリ1）における具体的な意見例

●対面の必要性・郵送や面談のタイミング（54.6%）

手帳を平日に受け取りに行かねばならず、オンライン申請や郵送受け取りを可能にしてほしい。夫が代理で受け取りに行っても”本人に口頭で説明したいことが多いため本人に来てほしい”と言われた、受け渡し時の説明を動画にして共有できる仕組みや、電話・リモートでの説明を可能にしてほしい。等

●紙媒体での提出（23.9%）

手帳と一緒に渡される書類やチラシが多いので、データ化してスマホで確認できるようにしてほしい。提出が必要な大事な書類とチラシをたくさん一気に渡されてわかりづらい、整理したりまとめたりしてほしい。電子母子手帳を使えるようにしてほしい。等

●プロセスの複雑・面倒さ（3.4%）

里帰り出産の場合に手帳と一緒に渡される補助券を全国共通で使えるようにしてほしい。等

●手続きの方法や基準が不明瞭（3.0%）

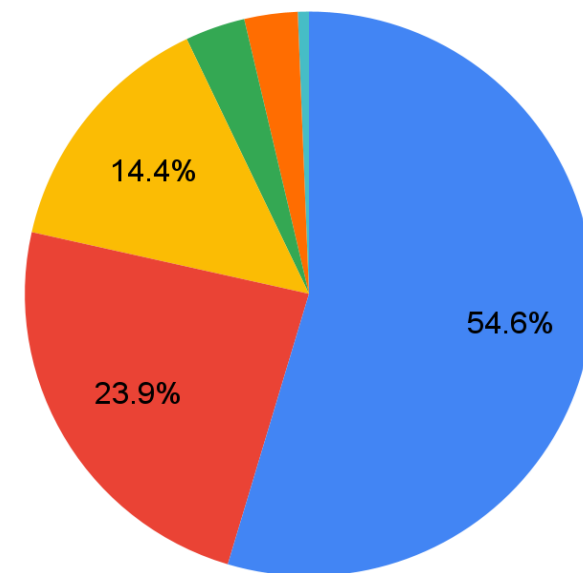
胎動が確認できないと区役所は行けないと産婦人科医から言われたが知らなかった。母子手帳の英語版がある案内がなかった。母子健康手帳番号が必要になることがあるが、どこに書かれているのかわからない。等

●スケジュールの把握・管理のしづらさ（0.6%）

妊娠何週で母子健康手帳をとりにいくのか病院によって異なった。受け取りのタイミングがわからなかった。母子手帳交付に伴って配布される資料の使うタイミングがわからず、デジタル化してリマインドしてほしい。等

母子健康手帳（カテゴリ1）における手続きに困った理由（カテゴリ2）の結果

- 対面の必要性・郵送や面談のタイミング
- 紙媒体での提出
- その他
- プロセスの複雑・面倒さ
- 手続きの方法や基準が不明瞭
- スケジュールの把握・管理のしづらさ



分析結果（予防接種）

- 予防接種のジャンルにおいては、「紙媒体での提出」に関する意見が56.2%と多くあがり、続いて「スケジュールの把握・管理のしづらさ」に関する意見（13.6%）、「プロセスの複雑・面倒さ」に関する意見（11.0%）が多かった。
- 具体的には、**書類の記入が大変だ**という意見や、**接種スケジュール管理の煩雑さに対し通知やリマインドの仕組みを求める意見**が多かった。

予防接種（カテゴリ1）における具体的な意見例

●紙媒体での提出（56.2%）

同時接種のとき、**何枚も書かないといけないのが大変**。問診は仕方がないとして名前、住所等の同じ情報は1枚書けば反映されるようにしてほしい。マイナンバーカードと連携して、個人情報や接種歴などが反映されれば楽だと思う。双子の場合、予診票の書き込みが2倍になりかなり大変。等

●スケジュールの把握・管理のしづらさ（13.6%）

アプリ等を入れて対策していたが**予防接種の手続きががとても煩雑**で忘れてしまう。メールやアプリ、郵送等で通知が来るようにしてほしい。子供が小さいときは引っ越しをする方も多いため、自治体をまたいでも容易に分かるようにできると安心。等

●プロセスの複雑・面倒さ（11.0%）

接種回数や書類が多いわりに、タイミングは自分で調べたりと内容が複雑。特に産院から詳しい説明があるわけでもなく内容を調べるのも一苦労。**予防接種の予診表の記載が市町村により異なり面倒**に感じる。質問内容や医師の記載欄を統一してほしい。等

●対面の必要性・郵送や面談のタイミング（6.3%）

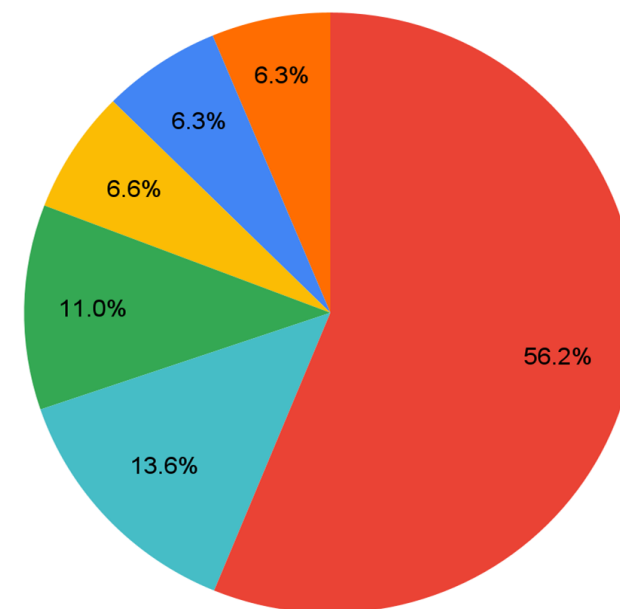
隣県に半年ほど里帰りしたため、予防接種の助成を受けるために予め申請が必要で、**書類を揃えるのも一旦自己負担するのも大変**だったし、**申請のために役所へ赴くのも億劫**だった。等

●手続きの方法や基準が不明瞭（6.3%）

自治体によって接種時期や補助が異なるようだが、転居先の予防接種について調べても情報がなく困った。**資料が大量**で今回の予防接種はどれを打つのか、どの資料を持って行けばよいのかが分かりにくい。等

予防接種（カテゴリ1）における手続きに困った理由（カテゴリ2）の結果

- 紙媒体での提出
- スケジュールの把握・管理のしづらさ
- プロセスの複雑・面倒さ
- 対面の必要性・郵送や面談のタイミング
- その他
- 手続きの方法や基準が不明瞭



分析結果（乳幼児健診）

- 乳幼児健診のジャンルにおいては、「対面の必要性・郵送や面談のタイミング」に関する意見が49.0%と多くあがり、続いて「紙媒体での提出」に関する意見（12.6%）、「プロセスの複雑・面倒さ」に関する意見（7.3%）が多くなった。
- 具体的には、**健診日程や時間帯の改善に関する意見**や、**必要書類の手書き項目の削減、オンライン・スマートフォンによる記入を求める意見**が多かった。

乳幼児健診（カテゴリ1）における具体的な意見例

●対面の必要性・郵送や面談のタイミング（49.0%）

集団健診はお昼寝の時間と重なることが多く、子どもの機嫌が悪く大変。平日だけでなく土曜日等も選択可能にしてほしい。連れて行くのが大変、健診時に使えるタクシーチケット制度等があれば助かる。等

●紙媒体での提出（12.6%）

必要事項の記入が毎回手書きで大変。小さな子を抱えてトイレに行く暇もなくご飯を食べることもままならない中で書くのは大変。**スマホでアンケート形式**で記入したい。基本情報、発育状況、予防接種の状況はデータを紐付けて一元化し、書類記載を簡略化してほしい 等

●プロセスの複雑・面倒さ（7.3%）

里帰り出産の場合、健診のために実家から戻る必要があった。**全国どこでも受診できるようにしてほしい**。健診の時期、受診券など市によって助成にバラつきがあるので統一して無料にすべき。等

●スケジュールの把握・管理のしづらさ（6.2%）

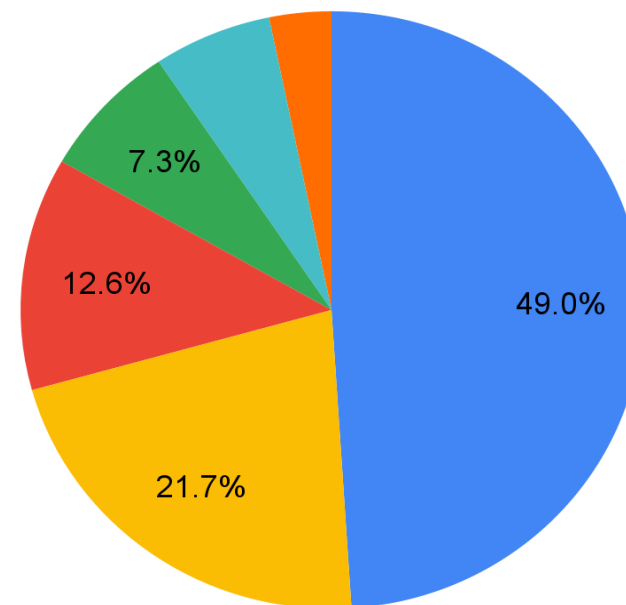
乳幼児健診の実施日が固定であるため、都合をつけずらいことがあった。また、忘れやすいこともあるため、カレンダーアプリとの連携機能、メールによるリマインダーがあるといいと思う。等

●手続きの方法や基準が不明瞭（3.2%）

自治体によって健診や予防接種の料金、日程が違うため、調べてもよく分からない。等

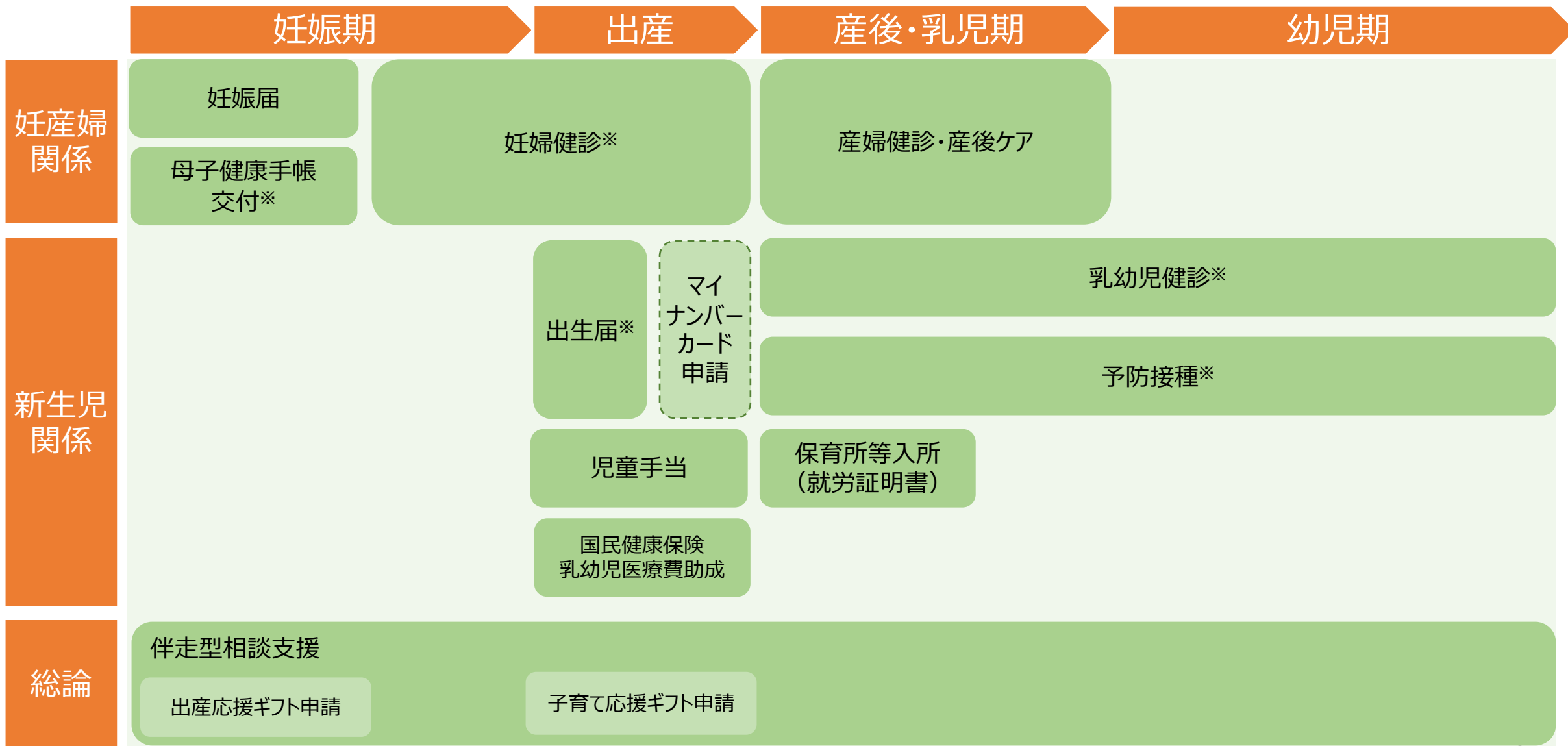
乳幼児健診（カテゴリ1）における手続きに困った理由（カテゴリ2）の結果

- 対面の必要性・郵送や面談のタイミング
- その他
- 紙媒体での提出
- プロセスの複雑さ・面倒さ
- スケジュールの把握・管理のしづらさ
- 手続き方法や基準が不明瞭



子育てに関する主な手続き・イベント

※アンケートにより特に関心が寄せられた手続き・イベント



アンケート結果を踏まえた取組の方向性

D Xの推進に向けて、まずはアンケート結果を踏まえて特に意見が多かった下記について、以下のとおり取り組む。

- 妊娠・出産に係る手続き（妊娠届、出生届）は郵送やオンライン申請を推進し市役所等に行かなくても完結できるようにする。
- 出産前後の健診事務等（妊婦健診、予防接種、乳幼児健診）は、民間アプリ等を活用し紙の書類の削減とプロセスの効率化を図る。

手続き

出生届

出生届の届出時の役所訪問等の負担に関する意見が多かったことから、

- **出生届（および同じタイミングで必要な手続き各種）の郵送での受付推進およびオンライン手続きの課題検証を実施**する。
- また訪問による手続きにおいては、父母子の負担を考慮して**書類の記載の簡素化・1か所の窓口で完結**できるように地方公共団体と連携を図る。

母子健康手帳

母子健康手帳交付時に保健師等が対面での面接を行っているが、手続きの効率化を求める声が多かったことから、

- **妊娠届のオンライン申請やオンライン相談**の活用促進等、個人の希望を踏まえた選択肢を示せるよう、地方公共団体と連携を図る。
- 利用者の利便性を高めるため、母子健康手帳のデジタル化に向け、環境整備を進めていく。

健診事務等

妊婦健診

妊婦健診の受診券の使いづらさ（手書き記入、償還払いの手間）に関する意見が多かったことから、

- **償還払いのオンライン申請、民間アプリの活用を推進**するなどデジタル化を進め、妊婦健診を受ける者の利便性の向上を図る。

予防接種

書類の記入の面倒さや接種スケジュール管理に関する意見が多かったことから、

- 自治体からの接種勧奨のタイミングで**スマートフォンにプッシュ通知**を行うとともに、**スマートフォンで予診票の事前入力や接種記録の閲覧**ができるよう、予防接種事務のデジタル化を実施。
- 個々の接種予定や接種間隔を管理する民間アプリの活用を促進するため、デジタル化に際してAPI連携できる環境整備を進めていく。

乳幼児健診

集団健診の日時に関する意見や、各書類のデジタル化等を求める意見が多かったことから、

- 地方公共団体と連携して、**受診しやすい健診日時の設定**を促す。
- **問診票をスマートフォンで事前入力**することができる取組等を実施。